

最適なセキュリティ対策を通じて、企業が抱える課題を解決

パソコンの不正操作による情報漏えい、ウイルス、ハッキングなどセキュリティリスクは多様化し、企業はその対応に頭を悩ませているのが現状です。キヤノンマーケティングジャパングループ（以下キヤノンMJグループ）は、これらのリスクに対応したITソリューションの提供を通じ、お客さまの課題解決に貢献しています。

「従業員によるパソコンの不正操作」という社内の課題に対しては、パソコンの操作内容を記録するソリューションと社員教育をあわせて提案するなどして情報漏えいの防止を図っています。一方で、外部からの「サイバー攻撃」に対しては、「ESET（ウイルス対策）」や「GUARDIANWALL（総合情報漏えい対策）」、「SPAMSNIPER AG（メール無害化・スパムメール対策）」、「FortiGate（UTM）」、「Clavister（UTM・次世代ファイアウォール）」、「NetSkateKoban（不正接続検知・遮断）」などの製品・ソリューション間で機能を連携させるなどし、より厚いセキュリティ対策を実現しています。

このように個別のソリューションを提供するのではなく、国内外の各ベンダーとも柔軟に連携を図り、お客さまごとに最適なITソリューションを提供することで、多層防御を実現しています。

キヤノンMJグループでは、IoT化やワークスタイルの変革など、社会の変化に伴うセキュリティ対策を通じて、安心安全なIT環境の実現に貢献していきます。



啓蒙活動のための独自ツール

社員の声

ある企業で、社員による他人のパソコンへの勝手なログインや許可のないソフトのダウンロードなど、従業員によるパソコンの不正操作が問題視されていました。そこで、パソコンの操作内容を記録するソフト SKYSEA Client Viewを提案し導入していただきました。これにより、機密情報へのアクセスログを取得し、情報漏えい対策になるだけでなく、アクセスログを取得していることを社員に周知することで、社員の意識喚起にもつながりました。

また、“何か起きてからの対策”だけでなく、それ以前の情報提供・発信でお客さまに気づきを得てもらうことも私たちの役目だと考え、キヤノンS&Sでは独自のツールを作成し、お客さまへの啓蒙活動を実施しています。

今後も、“セキュリティ対策ならキヤノン”と浸透できるよう、お客さまのニーズに合致したサービスの提供を通じて企業と社員をお守りするだけでなく、その結果として企業のコンプライアンス維持と健全な情報社会の実現につなげていきます。



左：キヤノンS&S
ITソリューション推進本部
ITソリューション販売推進部
クラウド・セキュリティビジネス販売推進課
課長代理 信時 伴成さん

右：キヤノンITS
基盤・セキュリティソリューション事業本部
基盤・セキュリティソリューション企画センター
企画部企画二課
チーフ 長谷川 隼也さん

関連ページ

- ▶ キヤノンITソリューションズの「CSR活動」のページへ
- ▶ キヤノンITソリューションズの「ESET」のページへ
- ▶ キヤノンITソリューションズの「セキュリティ」のページへ

CSR情報

- ▶ キヤノンMJグループのCSR活動ページへ

お問い合わせ

- ▶ キヤノンMJグループのCSRに関するお問い合わせはこちら

▶ これまでの取り組み一覧へ

▶ Business with CSR トップへ